

理研イブニングセミナー

参加無料

理研の研究成果と研究活動を産業界に伝え、連携に結びつけることを目的として、企業の方を対象としたイブニングセミナーを開催します。

時間 17:30～18:30
(発表 30分、質疑応答 30分)

※講演後に名刺交換などの交流の時間を設けます。

会場

2016年12月14日(水)

【AP 東京丸の内】

千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー 3階

2017年1月25日(水) 開催分以降

【新東京連絡事務所】

東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング 15階

定員 各回 40名 **先着順** (1企業2名様まで)

※ご希望の回ごとにお申込頂けます。

参加対象は企業の方限定とさせていただきます。

お申込は事前登録制とさせていただきます。



2016年12月14日(水) 会場: AP 東京丸の内 (千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー 3階)

第17回 実験小動物の微弱な震え検出システムの開発

—神経疾患モデル振戦(震え)の評価—

発表者: 吉田 崇将 (脳科学総合研究センター 行動遺伝学技術開発チーム)

実験小動物の微弱な振戦(震え)を客観的に検出するために、振戦検出装置ならびに検出アルゴリズムを開発しました。これによって目視では判別しにくい微弱な振戦も検出することができました。



2016年1月25日(水) 会場: 新東京連絡事務所 (東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング 15階)

第18回 糖鎖修飾の新しい検出法

—糖鎖関連バイオマーカーの開発に向けて—

発表者: 谷口 直之 (グローバル研究クラスター 理研-マックスプランク連携研究センター システム糖鎖生物学研究グループ)

標的糖鎖を高感度に検出できる化合物を開発しました。今後は、生細胞における糖鎖イメージングや糖鎖関連がんバイオマーカーの開発に適用できる可能性があります。

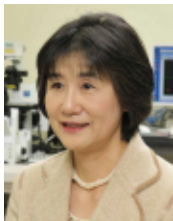


2017年2月8日(水) 会場: 新東京連絡事務所 (東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング 15階)

第19回 DNAを材料にした世界最小のコイル状人工バネの開発と応用

発表者: 岩城 光宏 (生命システム研究センター 細胞動態計測コア 細胞動態計測研究グループ)

DNAを材料として、ナノスケールの分子に力を加えるためのコイル状人工バネ(ナノスプリング)の作成方法を提案、バネとして機能することを実証しました。観るための様々な顕微鏡と併用することが可能で、DNAの化学修飾も容易なため、生体分子から無機材料まで幅広く対象にすることができます。



2017年2月22日(水) 会場: 新東京連絡事務所 (東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング 15階)

第20回 全世界に蔓延する牛白血病ウイルス

—理研で開発している診断技術・治療薬—

発表者: 間 陽子 (分子ウイルス学特別研究ユニット)

牛白血病ウイルス(BLV)感染は全世界で急速に拡大していますが、有効な予防法・治療法はなく、肉牛や乳牛などの食料供給・安全性を脅かしています。そこで、世界初の牛白血病ワクチン開発や新しい診断技術の確立についての理研での研究をご紹介します。



2017年3月8日(水) 会場: 新東京連絡事務所 (東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング 15階)

第21回 バイオマス資源を原料とした高性能・高機能プラスチックの創製に向けて

発表者: 阿部 英喜 (環境資源科学研究センター バイオマス工学研究部門 バイオプラスチック研究チーム)

再生可能なバイオマス由来化合物群を原料として、主に化学的な手法を駆使し、新規ポリマー素材の開発を進めています。有機脂肪酸からの高耐熱性新規ポリマーの開発、バイオマス由来アクリル樹脂の開発、含芳香族バイオマス化合物からの耐熱性新規ポリマーの開発に成功しています。本セミナーでは、各種新規樹脂素材の開発における設計戦略ならびに樹脂素材特性を紹介します。

【お問合せ先】 理化学研究所 産業連携本部 連携推進部 技術移転企画課

TEL: 048-462-5475 E-mail: evening-seminar@riken.jp

※参加ご希望の方は会社名、氏名、電話番号、希望する回(複数可)を記載の上、

件名を『理研イブニングセミナー参加申込』とし evening-seminar@riken.jp 宛にお申し込み下さい。



申込締切り

各回(各開催日)1週間前

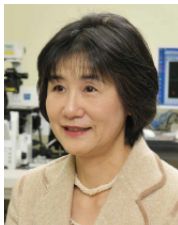
第 20 回 理研イブニングセミナー 全世界に蔓延する牛白血病ウイルス

2月22日(水)開催

—理研で開発している診断技術・治療薬—

発表者：間 陽子 (分子ウイルス学特別研究ユニット)

申込×切
平成 29 年
2月15日(水)



! ここがポイント

- ◆ 牛白血病感受性牛を標的としたワクチン開発
- ◆ 革新的 BLV 診断技術の開発
- ◆ 牛白血病抵抗性・感受性牛の判別方法の開発

! 実用化に向けたポイント

- ◆ DIVA 搭載・世界初の牛白血病ワクチン
- ◆ BLV 絶対定量法
- ◆ 高感度蛍光 BLV 感染力価定量法
- ◆ タイピングによる疾患感受性個体の識別

< 適用例 >

- ・ エイズウイルスや成人 T 白血病ウイルスへの応用
- ・ より高感度なクルードサンプルからのウイルス検出
- ・ MHC をマーカーとした新しい牛白血病制圧戦略

